



「あかりちゃん耳かき」(左上)、「電池アダプター」(右)、「安心ろうそく」(右下)、「串抜き皿」(左下)

# 旭電機化成 株式会社

## 知恵と工夫で豊かな暮らしを届けるアイデア企業

海外可  
海発注  
期談  
納相  
力有  
企自信  
心  
メバ  
産  
対

### 業務内容

#### プラスチック加工とアイデア商品の開発

たびたびテレビ番組でも取り上げられる同社のアイデア商品。その数は約600種類にもほのぼの。もちろんすべて同社が提案、企画、製造したものだ。もともと電機通信機器部品やプラスチックの成型、加工を行ってきた同社では、今も業務の4割は成型加工だという。その技術を活かして誕生したのが、自社ブランド「スマイルキッズ」だ。「すべて暮らしの中の不便や不満から生まれたものばかりです」と話す原直宏社長の言葉通り、「こんなほしかった」というアイデア商品が揃っている。

### 強み

#### 電子回路技術を活かしたセンサー商品

「手を叩けばライトが光る」「雨滴の信号を電子信号に変換し、雨を知らせるセンサー」等、ユニークな商品に同社の電子回路技術が盛り込まれている。

また、同社はラジオを始めとする電気通信関係を得意とし、平成5年にハツネ電気をM&Aで合併。以来、国産で唯一、懐中電灯をつくり続けている。



LEDを発光させて遠くに光を集める等、高度な技術を導入した製品も多く、海外での需要も多い。種類が豊富でリピート率が高い同社の製品群の中でも、防災関係商品は震災直後に売り切れが続いたが、どんなに注文が殺到しても全品検査して出荷する姿勢を貫いている。

### 企画力

#### 市場調査と年間50回に及ぶ会議を継続

「商品開発のヒントはいたるところにある」と原守男専務。問屋での何気ない会話や偶然、街角で耳にした話等からアイデアが浮かぶそう。従業員からもアイデアを募集しているが、実際に商品化するまでには厳しい審査が行われる。年間50回の提案会議では、約300件の企画案が2割に絞られる。さらに承認会議で検討した後、試作化にこぎつけるのだ。どんな企画もすぐに試作できる設備があるだけに、アイデアを見える形にしやすい。顧客に提示して反応を見て、いよいよ商品化に向かうのだという。こうして、取引先300社と市場を満足させる商品群が誕生する。

### 今後の展望

#### バランスのよい事業展開を目指す

「二業種だけに絞ったり、下請けだけの仕事に依存するのは危険だ」と原社長。過去の経験で身をもって感じたという。今後は「自社ブランド50%、OEM30%、部品加工20%」という、バランスのよい経営を目指す。「自分の足で立ってこそ、社会に貢献できると思います」。

## COMPANY PROFILE

## 旭電機化成株式会社

大阪 23



昭和8年にラジオの合成樹脂部品加工を始めました。その後、電気、ガス、高熱器具の部品加工と広げ、センサーや電気機器を組み合わせた商品をつくってきました。平成5年にはハツネ電気を合併。平成7年に自社ブランドを立ち上げて、数多くの商品を世に送り出してきました。どんな商品もつくり続けることが肝心。今後は環境に貢献できる商品を増やしたいですね。

電気、センサー、電気機器を組み合わせた商品で、暮らしを便利にしたいと思いやってきました。

代表取締役 原直宏さん



- 主な事業内容  
プラスチック成型・加工・塗装・組立、金型製作、アイデア商品・電気応用商品の開発・製造等
- 主な取引先(納入先)  
総合家電卸業者、家電メーカー、遊戯機メーカー、ガス機器メーカー等

住所/〒537-0003  
大阪市東成区神路4-3-18  
TEL/06-6976-1371  
FAX/06-6976-8940  
創業/昭和8年2月  
設立/昭和25年11月  
資本金/7,500万円  
従業員/100名

<http://www.smile-asahi.co.jp/>